

接着力

Adhesive Strength

接着力は「粘着力」とも言い、被着体に対する「食いつく力」を示す。

接着力を左右する主要素は、※界面接着力、凝集力、支持体密着性である。

したがって、粘着性（ベタベタ感）の強弱にかかわらず、界面に対する食いつき力と樹脂の凝集力および支持体に対する密着性が高ければ、高接着力が期待できる。

※「界面」二つの相が互いに接触している境界面を指す

試験方法（ピール試験）

清掃した試験板に「幅 25 mm×長さ 250 mm」で切断した試験片の粘着面を下側にして、試験片の端を折り返し、試験片の半分 125 mmが試験板の中央に位置するよう貼り付け、試験片の残り 125 mm部分は遊び部分にする。

遊び部分の粘着面はタルク等の粉を「打粉」するか、紙等を貼り付け他部に付着しないように処理を施す。

次に、貼り付けた試験片の上から 1.0 kg ローラーを用い、300 mm/min の速度で一往復圧着する。

圧着 20 分から 40 分経過後、遊び部分を 180° 折り返し、約 25 mmはがした後、計測器のチャックにはさみ、300±30 mm/min の速度で引きはがし、引きはがしに必要な「力」を計測する。

また結果表記には試験板の材質、試験片の幅、引きはがしの角度を明記する。

